



BOSO 房総千葉 CHIBA

発行人 / 東洋大学校友会千葉県支部
支部長 池 俊一
発行日 / 2023年5月1日
千葉県佐倉市城内町28-28
☎043(485)7482



東洋大学 校 歌

作詞 林 古溪
作曲 山田耕筈

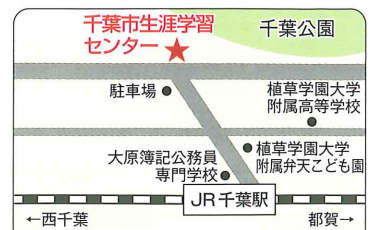
- 1 亜細亜の魂 再び此処に
目覚めしよろこび 溢れつ人に
雄々しく揚げたり関の声
東洋大学 生れぬかくて
2 亜細亜の天地 暁明けて
仁義と慈悲との 誠の光
今こそ輝け 西の海
東洋大学 務は重し

2023 年度
東洋大学校友会
千葉県支部の集い
ご案内

日時 2023年 6月24日(土)
受付 / 15:30~
総会 / 15:45~

会費 1,500円
1時間程度の交流会を予定

会場 千葉市生涯学習センター
3F大研修室
☎043(207)5811
千葉市中央区弁天3-7-7



JR 千葉駅より徒歩 10 分



ご挨拶

支部長 池 俊 一
(昭和47年仏教科卒)

校友の皆様方には、コロナ禍の中ご健勝のことと思います。もう足掛け4年になります。皆様のご理解のもとで支部総会を開くことは出来ていますが、以前のように楽しい時間を共有する機会をつくる事が出来ていません。それでも、2022年度は、総会終了後、コーヒータイトムをつくる事が出来ました。屋外で、限られた時間でしたが、30人が出席して下さいました。校友と久しぶりに話をすることが出来ました。一時間という時間が恨めしくさえ思いました。この間の過ごし方の工夫や思わぬ知り合いの消息が聞けたりと話が尽きませんでした。改めてこうした機会が大切だと思いました。お土産に幹事長がボランティア支援をしている木工細工の一品を手にする事が出来ました。これもいい思い出です。2023年の総会終了後も感染状況にもよりますが実施したいと考えています。多くの校友の参加を望んでいます。

さて、校友会の財政状況について話をいたします。大学からの代理収納制度が2015年に停止された以降、明らかな財政破綻が予見されています。毎年約4500万円の赤字を出し続けています。メルマガ読者は8700人程いますが、殆どは所謂フリーライダーです。

役員名簿

役職	氏名	卒年	地区	役職	氏名	卒年	地区	代表幹事	氏名	卒年	地区
顧問	☆川上三郎	社会 S36	佐倉市	副幹事長	高梨正志	経営 H9	千葉市	第2地区	女良和彦	法学 H16	八千代市
相談役	中川泰治	経済 S42	野田市	会計	猿渡直人	国文 H12	柏市	副幹事	西村敦	工学 S61	市川市
〃	☆梅林三郎	経済 S40	千葉市					第3地区	☆相原和茂	社会 H5	松戸市
支部長	☆池俊一	文学 S47	佐倉市	監事	内田輝幸	法学 S41	千葉市	副幹事	湖林孝之	法学 S53	流山市
副支部長	☆柴田政英	経済 S49	柏市	〃	☆金子芳則	経済 S45	銚子市	第4地区	☆水元直行	社会 H9	印西市
〃	富岡正明	文学 S49	柏市	女性幹事	大内重子	文学 S49	佐倉市	第5地区	高橋孝之	法学 S56	木更津市
〃	☆山本哲夫	経済 H13	松戸市	〃	川口裕美	経済 S57	浦安市	第6地区	☆相京邦彦	院文研 S52	東金市
〃	☆鈴木康夫	経営 S48	千葉市					第7地区	多部田憲一	経営 S48	銚子市
幹事長	☆鈴木康夫	経営 S48	千葉市	第1地区	宮下静男	法学 S47	市原市	副幹事	平野恭男	社会 S49	銚子市

(注意) 役員任期 2021年総会時～2024年総会時→改選 2024年総会時

☆→代議員 任期は2022年2月15日～3年以内に実施される代議員選挙終了の時まで

※→理事(推) 任期は2022年5月代議員会～2024年5月代議員会までの2年間

令和4年4月1日作成

令和4年6月5日改正

令和4年7月30日改正

この人たちをと考えていますが、会費増収策もままなりません。資産残高は、このままで推移していくとあと5年で破綻してしまいます。一縷の望みは、大学と包括協定を結ぶことが出来、協力金の目途がたったことです。そして、この延長線上に代理収納復活が期待されます。でも、今の時勢、経済的な余裕が見当たりません。厳しい条件下にある事は間違いありません。

関連しまして、紙媒体で全正会員に発送されていた本部会報誌が2023年発行分で終了になる見込みです。2024年は希望者のみ発送するとの事です。そうした一応の猶予期間は有る様であるが、今後は、インターネットを通しての配信になっていきます。紙媒体で発行し続けてきた支部の会報誌もそれに連動していくことを考えなければなりません。会報製作費、発送作業等の問題が有ります。これまで支部会報誌は本部会報誌と一緒に送付していただきましたので、案内の通知も校友会本部の総会通知、ブログを見る事を皆さんも習慣化して頂ければ幸いです。30年近く積み上げてきた歴史の重みをどうしていくかについて2023年度は検討します。感心のある校友は是非とも参加をしてください。ご連絡を。

どうも先行きの見通せないことばかり述べましたが、千葉支部では、若い年代の役員が会の中核になり、初場所見物、Zoomによる交流会など企画してくれています。希望のあふれる支部です。お忙しいとは重々承知をしていますが、ピンスポットでも構いませんので校友の皆さんの持っている知識・スキルをお貸し願えませんか。支部は校友一人一人の活躍できる会を目指しています。

チーム東洋大学校友会へ 楽しい支部の集いを

顧問 川上三郎
(昭和36年社会学部卒)

蠟梅に続き紅梅、白梅そして河津桜とわが庭も彩りを増して2月に東京の「亀戸梅屋敷寄席」を楽しんだ。

3月からのマスク使用個人判断の政府方針のせい、全員マスク姿ではあるものの立錐の余地もなく超満員の会場は華やいでいた。出演者らしき人たちにより間仕切りをはずし、座席を増しての開演となった。三遊亭一門の落語会で中心は同窓生の円福師匠。「長屋の花見」は満場を沸かした。彼との関わりは真打になった頃、校友大会で林家時蔵師匠（城東支部）をはじめ東洋出身者による落語大喜利の時から、三十年にもなろうか。千葉在住ということで何かと世話になっている。若々しい青年もベテランの域に達して貫禄十分。

中入休憩時には神田会長のもとで共に校友会副会長を務めた城東支部前支部長の武田さんや千葉県支部の中川相談役ともお会いした。城東支部と言えば城南支部長南方真理さんとの話し合いから実現した千葉県支部での芋掘りとバーベキューの集いでは現在の野中支部長時代に至るまで大変お世話になっている。東京各支部をはじめ近隣支部の皆さまに参加していただき感謝感謝です。コロナ禍で中断しましたが今年は再開できればとわが畑の整備をしております。

楽しい集いは同窓生の拠りどころとしての校友会の絆、発展の一助にもと思えます。法人化された校友会本部では池支部長が重鎮として活躍されています。チーム東洋大学校友会として、躍進を続ける母校東洋大学への支援ができる団体組織化に私たちも頑張りましょう。

昭和8年に結成された千葉県支部は今年90周年。13年に生まれた小生より5年先輩です。昭和36年に小生は卒業しましたが4年後輩の梅林相談役とダブルさぶ（三郎）



ちゃん、で幹事を務めた今井支部長の時代、小生が責任者だった群馬の会社を見学していただき、伊香保温泉で支部総会を開催できたことは忘れられない思い出です。

今年の支部総会で皆さまとお会いできること、総会後の千葉公園での大賀蓮を觀賞しながらの懇親会が楽しみです。

千葉市で支部総会開催

支部長 池 俊一
(昭和47年仏教科卒)

コロナ禍、何かと制約の多いなか、例年とは勝手が違いましたが、千葉県支部総会が令和4年6月26日（日）13時30分から千葉市生涯学習センター大研修室で開催されました。開会に先立ち永眠された同胞の物故者の方々に黙祷を捧げました。

幹事長の鈴木さんに総合司会をして頂き、大学歌斉唱（テープによる）のあと、本支部の顧問でもあり、校友会本部の前副会長でもある川上三郎さんから、一般法人化された校友会の今後の在り方についての講話をいただきました。

開会のことばを山本哲夫さん、議長選出で第3地区幹事の相原和茂さんが選出され、次の議題を審議しました。なお、議事録証明人は水元直行さん大内重子さんをお願いをしました。

- 第1号議案令和3年度事業報告を鈴木康夫さん
- 第2号議案令和3年度決算報告を柴田政英さん
- 第3号議案監査報告を監事の金子芳則さん
- 第4号議案令和4年度事業計画（案）を水元直行さん
大相撲2023年初場所観覧についてのアンケートを実施
- 第5号議案令和4年度予算（案）を柴田政英さん
- 第6号議案支部規約の改正を鈴木康夫さん
- 第7号議案令和4年度役員（案）を池俊一
- その他IT推進について高梨正志さん
- 閉会のことばを相京邦彦さん

最後にアマ13冠堤駿斗さんの両親が見え、プロデブューをすると云う報告があった。

上程された議題は慎重審議のうえ承認されました。出席会員からの質問事項ですが、特段は有りませんでした。正会員や新卒者の加入状況についての、正会員の減少傾向を危惧されていました。因みに2021年度末の正会員は737人です。その内新卒者は3名です。800人を切ってしまいました。それに伴い、本部からの交付金も558000円と減少しています。

総会終了後記念写真を撮影しました。初めての参加の石橋毅さん（昭和39経済）田原治之（平元法学）をはじめとして校友の参加をいただけたこと感謝しております。総会終了後の近くの千葉公園に場所を移し懇親会を行いました。27人が参加し一時間ほどのソフトドリンクとお茶菓子の会でしたが、話が弾みました。

総会後は会場を移して交流会

幹事長 鈴木 康夫
(昭和48年経営学部卒)

新型コロナウイルス感染症が確認され3年となります。この間校友会の活動も大きく制限されてきました。総会後の懇親会を楽しみにしておられた校友の皆様も多かったことと思います。現在は第8波の到来が心配されているところですが、少しずつ明るいさしが見えてきているようにも思います。まだまだ制限がありますが楽しく活動できる校友会を皆で知恵を出し合っていければと思います。

令和4年度の支部の集い(総会)は6月26日(日)千葉市生涯学習センターで開催されました。本年度も他支部からの来賓は招請せず支部会員のみでしたが、34名の参加がありました。予定された議事は滞りなく審議され承認されました。

閉会の後、大平直樹さん(昭和43年社会学部卒)から卒業生の堤駿斗選手(ボクシング)の紹介がありました。堤選手は千葉・習志野高校から東洋大に進み、東洋大で目指した東京オリンピックは世界最終予選の中止で出場できなかったそうです。高校時代から井上2世と期待され、4月にプロに転向。7月13日にプロデビューすることがご両親からも紹介されました。(7月13日のデビュー戦では見事白星を飾り、目標とする世界王者へ確かな一歩を踏みだした。12月31日にはプロ2戦目があり前東洋太平洋王者を圧倒した。)

当日は千葉公園大賀ハス祭りの最終日で、見事な大賀ハスを散策しながら観賞。16:00からはNPO法人障害者の就労を支援する会・カフェハーモニーに移動して交流会を開催しました。参加費は1,000円で軽食(サンドイッチ、ガトーショコラ、ソフトクリーム)とドリンク(コーヒー、紅茶、ウーロン茶)からそれぞれ一品の注文をしました。27名の参加者があり、自己紹介、近況報告、その後懇談いたしました。途中、受付抽選順にNPO従事者(筆者含む)製作の竹細工を選んで頂くなど、約1時間でしたが楽しい一時となりました。



千葉県支部交流会の記念撮影

Zoom体験研修会の振り返りと 今後のZoomの展開について

高梨 正志
(平成9年経営学部卒)

Zoom体験研修会を一昨年は7月18日と11月14日の2回、昨年は2月13日と11月13日の2回開催しました。参加人数は、第1回が5名、第2回が7名、第3回が7名、第4回が4名でした。

回数は一昨年よりも多く増やして役員会、支部総会がない月に開催しようと思っておりましたが、4月から7月まで家庭の事情でなかなかできませんでした。

参加人数は役員やFACEBOOKやLINEの告知だけでは足りないので、総会の時に声かけをしました。しかし、Zoomを経験した人が少なく、3人のメールアドレスを収集することができました。総会后、開催文書を送りましたが3人とも不参加で一昨年よりも人数を増やすことができませんでした。

毎回、体験研修会では支部長の挨拶の後、雑談内容は支部長や幹事長と事前に決めていなかったため、フリートークを行っていました。

体験研修会を4回開いてみて、参加者がZoomに慣れてきたので、次回からの会合の名称を体験研修会から情報交流会に変更し、2月12日に開催することを12月18日の役員会で決めました。

2月12日のZoom情報交流会では、9人が参加してくれました。話す内容も事前に決めて、鈴木幹事長と相談したため、以前よりも長い時間で事前に決めた内容で話せましたが、2時間のうちの1時間しかできず、後半はフリートークになってしまいました。話す内容は支部長の挨拶、大相撲初場所観戦ツアーの感想と要望、近況報告の3つだったので次回の会合では話す内容を増やしたり、画面共有を使って皆に見せながら話す時間を増やす工夫をしていきたいです。参加人数は一昨年と昨年と比べて増えましたが、もっと増やすためにZoom情報交流会の文書を送るメールアドレスを聞きましたが限界があるので、事務局から送られてくるZoomのURLをFACEBOOKやLINEに掲載して情報交流会に参加できるようにしたいです。2020年7月下旬に池俊一支部長からIT推進委員の就任要請があってから引き受けて8月23日に初めて事務局主催のZoom研修会を受講しました。最初はトラブルが発生し、使いこなすのに時間がかかりましたが、何回か研修会を受けたり、事務局の人からZoomの使い方を聞いたりして支部での会合を開けるようになりました。今は私が中心になってZoomの会合を開けていますが、他の人にもZoomの使い方を教えて、会合を主催して開けるようにしたいです。

SPORTS

中川 泰治 (昭和57年経済学部卒)

▶▶▶ 34年ぶり兄弟関脇誕生か？

史上4組目の兄弟三役となった若元春と若隆景(東洋大卒)はともに千秋楽も白星で9勝とした。兄の若元春は令和5年春場所で新関脇昇進の可能性があり、89年春場所の逆鋒、寺尾以来、34年ぶりに兄弟関脇が誕生しそうだ。若隆景にも大関に上れるよう皆さんで応援しましょう。

▶▶▶ 3年ぶり2度目の日本一

2022年7月16日(土)、関東大学ボクシングリーグ戦が後楽園ホールで行われた。拓殖大学と対戦の末初めて全勝で優勝を飾り関東代表となった。続いて、8月27日(土)アダストリア水戸で全日本大学王座決定戦が行われた。関西代表大阪商業大学と対戦し9-2で圧勝し2度目の大学日本一を飾ることができた。この2試合ともコロナ禍のため無観客の中で行われ応援できず残念だった。この試合において最優秀選手賞に堤麗斗、技能賞に金城隼平(共に東洋大学)の2名が受賞した。他にも全日本選手権で男子ミニムム級優勝の古藤昇大選手、女子フライ級優勝の岸本有彩選手など東洋大ボク



2度目の大学日本一に

手など東洋大ボク

シングの活躍が今後も期待できそうだ。



古藤昇大選手④

岸本有彩選手④

▶▶▶ プロボクシングの世界に飛び込んだ二人

堤駿斗(23)千葉県習志野高時代世界ユース選手権で優勝、また全日本選手権で高校生優勝をしている。最大の目標であった東京五輪は、新型コロナウイルス禍で最終予選が中止になる不運もあって出場できなかった。志成ジムから7月14日にプロデビュー戦に出場、めでたく勝利、12月21日の試合にも出場し2連覇を飾った。弟(麗斗)は東洋大ボクシングに属し、2024年パリ五輪を目指し頑張っている。兄弟で世界一をめざし活躍してほしい。

今永虎雅(23)奈良県五寺工高時代、高校総体、団体、選抜という3年間で出場した8大会を全部優勝している。大橋ジムから6月29日にデビュー戦を行いKOで勝利し、8月26日、12月26日にも試合を行い3連覇するなど活躍している。大橋秀行会長は、「彼はパンチ力がある。非常にプロ向き」と期待している。今年2名の活躍を期待したい。

大相撲観戦ツアーに参加して

川口 裕美
(昭和57年経済学部卒)

1月21日支部の大相撲観戦に参加させていただきました。コロナ禍ということもあり、私にとって久しぶりのイベントです。両国駅で待ち合わせをした女性7名は久々の再会を喜び、国技館へ！ 14日目で良い取組みが目白押し、手に汗握る熱戦を堪能することができました。御嶽海・若隆景も勝ち、大満足で帰ってきました。みなさんの感想もご紹介いたします。



●初場所の見物は日頃のテレビの観戦より一段と熱を感じ、言いがたく感動致しました。東洋大学同窓の皆さまにお会いできたことも嬉しい初場所となりました。

永田桂子(H10・社会)

●国技館に行かせていただき、会場の雰囲気や取組みの迫力に圧倒されました。御嶽海・若隆景の勝利も観れてとても良かったです。
松井恵子(H7・短英文)

●大相撲を初めて観ることができました。二階席でしたが体がパチッと当たる音が聞こえました。戦いがとても迫力があり、応援に気合いが入りました。皆で応援した御嶽海・若隆景が押し出して勝てて良かった。天気も良く、素晴らしい集いをありがとうございました。
高橋のり子(S54・短)

●幹事さんの準備で楽しい相撲観戦ができました。ありがとうございました。今回は応援タオルでしたが、今回は大学名入りの横断旗で応援できました。元気が出ました。お世話になりました。
植村初枝(H16・文)

●久しぶりの大相撲観戦でワクワクしました。席もとても見やすい席で、生で見る取組みは迫力があります。中入後からあっという間の2時間半でした。とても楽しかったです。

佐藤久美(S61・短)

●久しぶりの東洋大の校友会。とても楽しかったです。以前の時も参加しましたが、皆さんの元気な姿を拝見してとても嬉しく思いました。
佐藤三枝子(S60・短英)

母校が取り持つ縁

深澤 照生

(昭和57年文学部卒)

今年の新春恒例の箱根駅伝は、はらはらする展開になった。往路序盤で遅れ、2区では19位まで順位を落とした。選手諸君には大変申し訳ないが今年の駅伝は期待できないとテレビ観戦しながら早々に諦めムードとなってしまった。しかし往路ではシード権をめぐるデッドヒート、選手の力走に応援にも力がこもった。結果10位でゴールし、18年連続シード権を獲得した。

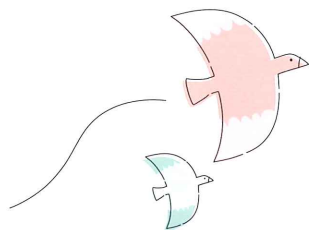
さて、我が家は亡父が東洋大の出身であり小生も昭和57年東洋大文学部卒業、妻も東洋大、実弟も東洋大工学部出身であります。家族で東洋大出身者が多いことから、毎年、箱根駅伝は家族でテレビ観戦することが恒例となっています。とくに小学2年生になる甥っ子は根っからの東洋大駅伝ファンで今年は鶴見中継所付近まで声援へ行くほどです。



鶴見中継所付近で東洋大を応援する甥

銚子白山会設立より 地元の東洋大OBの方々にはお世話になっており、とくに当時亡父が最年長ということで銚子白山会設立の際には初代会長を仰せつかっておりました。以来銚子白山会事務局を我が家が任されており、現在の銚子白山会会長の金子さん等顔を合わせる機会がたびたびあります。銚子白山会の事務的な話の他は専ら正月恒例の箱根駅伝の活躍や東都大学リーグ、東洋大出身のオリンピック競泳選手等の活躍の話題であります。選手たちの一生懸命な姿に感動し、手に汗握り一喜一憂しながらテレビ観戦し、そしてまたその感動を東洋大出身OBの皆さんと共有共感できることは、強い仲間意識、一体感のようなものを感じることが出来ます。

母校卒業後40年あまり過ぎましたが、年齢世代が違い、職業も違う多くの地元の東洋大出身のOBの皆さんとお付き合いさせて頂いていることに感謝申し上げたいと思います。もとより、このように東洋大出身の皆さんとお付き合い出来ているのは母校が取り持つ縁といえましょう。妻との出会いもまた母校の取り持つ有難い?ご縁といえましょう。今後も東洋大出身アスリートの活躍を皆さんと共に感動しながら応援させて頂きたいと思います。



ふるさといすみ市で取り組む

協働のまちづくり

高原 和江

(平成6年文学部国文学科卒)

はじめまして、いすみ市にてまちづくり活動に取り組んでおります高原和江と申します。文学部国文学科を卒業後、会社員を経て、野菜ソムリエの資格をいかし食や農の多面的な魅力や大切さを伝えながら食育活動等に取り組む中、食や農の問題を痛感し、ふるさとの田園風景を守りたいと2009年にUターンしました。現在、NPO法人いすみライフスタイル研究所(以下、いす研)理事長として、仲間とともに、市民のみなさんや各種団体、行政、教育機関、企業の方々と連携・協働しながら、地域活性化、地域課題解決に取り組んでいます。いす研は、3町合併によるいすみ市誕生を機に、市内の若手工商業者が中心となり2008年に設立されたNPO法人で、いすみ市の自然環境を生かしながら、市民が愛着と誇りを持てる、明るく豊かなまちづくりに取り組み、現在15年目を迎えています。商店街内の空き店舗に、房総・いすみ田舎ぐらし情報センター窓口を開設し、よろず相談をお受けしながら、「移住定住促進、情報発信」の他、「空き店舗・空き施設の活用」「暮らし・空き地・空き家のサポート」「魅力あるづくり手の発掘・支援・起業サポート」「イベント企画・中間支援」「SDGsを意識した持続可能なまちづくりのための環境保全と啓蒙活動」「いすみ市の有機農業普及・学校給食の取り組み応援」「WEBサイト『isumi-style.com』を活用した情報発信」「ドラマ撮影協力・取材対応」「研修受入れ・講演」「各協議会への参画・各種団体・行政・企業・大学・団体との連携・協働」等を行っています。メンバーは、本業を持ちながらのボランティア活動ですが、様々な方々と連携・協働し、それぞれの得意をいかすことで取り組みがひろがっています。活動では、「人・つながり・持続可能性」がポイントとなっています。こうした活動の延長線上で、昨年12月よりいすみ市議会議員となり、新たな役割をいただきました。引き続き、多くの皆様とともに、ふるさといすみ市の活性化ならびに、地域課題解決、そして、「人々のご縁と力で、笑顔あふれ輝く今と未来を創る、持続可能なまちづくり」をめざして取り組んでおります。この度は活動紹介の貴重な機会をいただきありがとうございました。大原漁港の朝市等も再開しております。ぜひ、いすみ市にお越しください。



NPO法人いすみライフスタイル研究所 <http://www.isumi-style.com/index.html>
高原和江 <https://life-essence.localinfo.jp/>

悔いなき五十九年 教壇生活に幕

名古屋 茂郎

(昭和38年国文科卒)

生徒・学生のために教壇に立ち続けた59年 勤務校全てで小さな足跡を残した 〔後編〕

船橋芝山高校には、大学の後輩が2人おり、神作学長誕生を契機に3人で「白山教育会」を立ち上げた。千葉県内の当時小学校から高校までに母校の卒業生が200人余り在職していた。私が事務局長になり、十余年続く。一時は大学の校友会千葉県支部総会参集数を上回るメンバーを集めた。

教頭試験を受けるように、二代目校長より指示があり、断るも3年続けても打診あり。現場第一主義の私は乗り気ではなかったが、しぶしぶ承諾。ところが、w先生が今回が最後だから来年からと。翌々年になるともう一人、若手のk先生だが。小論文で時間内に書き上げた私の隣でまだ半分しか書いていないk先生。試験監督者がk先生の現状を確認して突然、「15分延長します」と大声で。これには驚いた。静まり返った試験場がどよめきだした。理由説明なしでの延長。皆は不可解に思ったことであろう。15分後にはk先生も完成。そして一発で合格。こんな管理職試験ばかばかしくてごめんと、「もう受けません」と宣言。校長室を出た。考えないのか。船橋芝山の初代から三代目まで。

船橋芝山高校在職6年目に千葉県高等学校国語部会(会員、約3000名)の事務局長を頼まれた。代々事務局長は茗溪出身者が継承し、次いで千葉大出身者が待っていたにもかかわらず、東洋大出身者が入るということは大変であることは重々承知していたので断るも、「なりたい人は沢山いるが、なりたい人より、なって欲しいからと言われ、一年の約束で引き受け結局は6年の長きにわたる。4年目に国分高校に野球の練習試合で生徒引率で伺った時に、校長から直に「来年来てくれないか」と。また、その後も安房高校や成東高校や千葉東高校の校長や教頭から直接話があったが、行きたい気持ちを抑えて教えている生徒優先で応えず。船橋芝山高校に11年お世話になった。

そして公立最後の国府台高校に。ここは組合一色の学校で、生徒より組合活動が目立つ。生徒の掃除が為されない状態に空き時間を利用して、校舎の清掃を始め国府台高校を綺麗にしようと決意。先生方が物珍しそうに見ながら通る。3年生のあるクラスでは、新学期なのに全く床板が見えない程の紙屑散乱。担任が生徒に掃除をさせることができないというのがこの学校の実態。言うなればほったらかしだし努力欠如。だがそれらの教員の学歴を見ると、全国的にも有名な大学院の修士修了や博士課程中退や修了が11人もいる。勉強は出来るが、指導力に欠ける。だから実践型の教員を嫌う。三日ばかり廊下の掃除をしたら、先生方も掃除をさせるようになった。

長い職員会議を時間内に終わらせる火付け役に。私に議長のお鉢が回ってきたので、「時間内に終わらせます。同一

者による同一内容発言の繰り返しは禁止。発言は簡潔に5分以内で」と。プーイング組と歓迎組に二分されたが、以後時間内に終了。こうして一年で校舎が綺麗になるし、会議は時間内に終わることに。

国府台高校三年目ころ、母校の国文学会総会で、当時学長になっておられた神作先生から、和歌文学会に入らないかとの誘いを受け入会、現在に続いている。和歌文学会で知り合った西沢上智大学教授のお誘いで「西行伝承の会」にも入会、西行学会設立の発起人の一人として現在西行学会会員13年目になる。この間機関誌「西行学」の3号(2012)～11号(2020)に9回拙稿を掲載。9年間在職で落ち着いて担任として6年、2回の卒業生を見送り3年は副担任として、公立学校定年退職前の秋、第二冊目「京都 山家集の風土と風景」(人間の科学社)を出版。

もう教員生活おしまいかと思っていたら、嘗て国語部会で副会長・会長をされた山泉先生から、千葉経済大学附属高校に来ないかとの誘い。二つ返事で快諾。教員続行。講師として2年間。2年後千葉経済の専任教諭として3年間。この間野球部の副部長として、2004年第86回夏の千葉県大会で習志野高校を破り初の甲子園に。そして甲子園でベスト4になる。専任教諭として野球部の顧問になったのを契機に、父母合同の野球部の生徒の送別会時に氏名織り込み短歌を色紙に書いて贈る。退職後も約10年続けて、延べ約500人に氏名織り込み短歌入りの色紙を贈った。

千葉経済大学附属高校では毎時間分のプリントを作り、それを教科書と私の講義や辞典を使って調べるなどの、全員参加の授業に切り替え、プリントを埋めながら完成させ提出すれば出席とみなした。よって眠る時間はないし、眠る生徒は殆どいない。これが功を奏して職員室の話題に。

千葉経済大学附属高校退職後敬愛大学特別講師に。その時に柏高等技術学園から講師にと、それから4年間、敬愛は70歳で講師も定年。定年時に、大学主催の生涯学習講座で何か担当をとの依頼で、「『奥の細道』の旅を楽しむ」、その後『百人一首』の旅を楽しむ。「千葉県・東京都・神奈川県文学の旅を楽しむ」などを約10年。

柏技術学園講師の3年目から同系列の中央技術学園鎌ヶ谷校舎の講師兼任。そして鎌ヶ谷で13年間、両校で15年。ここでも全員参加のプリント授業展開。高等部創設一期生以来、卒業時に、本人の氏名入りの短歌を作り、色紙に筆で書いて記念品として贈る。退職時は在校生も含めて。全員で420人ほどになる。82歳を過ぎ令和4年3月退職。59年間の教壇生活に幕。三冊目、平成12年「ガイドブック百人一首の旅」(勉誠出版社)を共著として出版。

船橋芝山高校や国府台高校での教え子たちが毎年同級会やクラス会を開催。コロナ禍で一時中断したが、続いている。還暦の祝賀会に始まり、古稀の会、喜寿の会、傘寿の会と船橋芝山高校、国府台高校の教え子達によって数多くの祝賀会は開かれた。米寿の会や白寿の会が出来るか。今後も癌との戦いも続く。命あり足が動く限り西行の足跡を追い続けるつもり。



会員のメッセージ

2022年3月そけいヘルニアの手術し現在休養中。今年の5月で78歳現状重たい物や力仕事は中止してます。のんびりゆっくり生活してます。みなさんも体に注意して生活して下さい。藤ヶ谷修 S46 経済・経済 千葉市 / もうすぐ米寿を迎えます。今、小説を読むこと(今年2月から40冊をこえました)とカラオケを楽しんでいます(80歳の手習いです)。桐生政広様 S36 文・哲 佐倉市 / やっと元気になりました。皆様に会えること楽しみにしています。多部田憲一様 S48 経営・商 銚子市 / コロナ感染リスクにおびえながらの2年間でしたが自粛の合間をぬって地域のボランティアに参加し、世間にとりのこされない様にあがいて居ました。学友会の皆様にお会いできることを楽しみにして居ます。三浦シゲ子(佐々木)様 S42 文・国文 四街道市 / 人生100年時代、健康体維持の為、ウォーキング週3回位40分程実行しています。一方ゴルフは今年はコース出る機会増えそうです。但しスコアは悪くなる一方です。大久保喜弘様 S43 経済・経済 茂原市 / ご無沙汰しております。小生昨年より病氣療養中の為出席できない状況です。体調が戻りましたら皆様にお逢いしたいと思います。皆様の皆様のご健勝をお祈りいたします。黒木俊男様 S47 文・中国哲学文 松戸市 / 晴れた日は相変わらず1時間半から2時間程度のwalkingしております。長い時間の外出、walkingの時は、携帯用バッテリーを持参しラジオでFM東京を聴いたり、HF(短波)、VHF(超短波)、UHF(極超短波)運用可の無線、アマチュア無線バンドコンディション作りなどを楽しんでいます。古川博様 S40 工・応用化学 印旛郡 / 楊明時太極拳24式、グランドゴルフ、家庭菜園と忙しく暮らしております。山本幸彦様 S43 経済・経済 千葉市 / 87歳毎日リハビリに励んで居ります。藤田睦子様 / 毎日元気に働いています。お会いするのを楽しみに。後藤節様 S45 経済・経済 市川市 / 硬式野球部二部に落ち、神宮球場に行く楽しみがない。この春季リーグで二部優勝(現在4連勝中)、入替戦にも勝利し今年の秋季リーグ戦は神宮で応援したいものだ。常井猛様 S44 文・史学 柏市 / 社会福祉士、介護支援専門員として地域福祉活動に携わっています。古田修一

様 S59 社会・社会 習志野市 / 保険代理店に勤めています。田原治之様 H1 法・法律 千葉市 / 校友の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。私はマンションの10年毎の大規模修繕工事開始に伴い担当役員として多忙の中がんばっております。総会に参加できずに残念ですがよろしくお祈りいたします。宮下静男様 S47 法・法律 市原市 / 体に気をつけて家庭菜園をやっております。今年は雨が多いせいか、玉ねぎ400本、植え付けましたがあまりできが良くありません。来年に期待します。中川泰治様 S42 経済・経営 野田市 / 経産省を定年退職して4年になります。今は年金生活者です。楽しみは校友から横綱の誕生を見ることです。御嶽海、若隆景の両力士に期待しています。佐藤和也様 S60 経済・経済 松戸市 / コロナ禍の中、老人クラブで高齢者の皆さんと元気に活動していますが、早く終息すれば更に活動を行えると思います。今回は所用で参加できませんが次回は参加したいと思いません。柴田幸雄様 S49 経済・経済 柏市 / 継続雇用を辞し、65歳以降アルバイトとして就業中。伊藤智章様 S53 経済・経済 / 5月19日から22日、国立で行われる関東インカレ(陸上)に競技役員として参加しますが、母校の選手の活躍を期待しています。前司憲行様 S47 法・法律 大網白里市 / 毎年校友会報と千葉支部だより、とても楽しみにしております。皆様のご活躍を楽しみにしております。私自身も経営学部1期生として平成19年に文化褒賞、昨年は平和賞を賜り、感無量です。昨今、東洋大学がスポーツに学術に上級大学化しているのを目にする時、誇りを感じています。井上正様 S45 経営・商 八街市 / 通信を卒業してから36年たっていることにびっくりしています。いろいろとご苦労さまです。ありがとうございます。おかげ様で元気に過ごしております。高橋光余様 S61 通信教育・国文 柏市 / コロナ禍の中、車の免許返納で動きがとれず閉じこもり続き。取材ができず執筆中の「西行学」の原稿も中断。教え子達による「ご苦労さまでした会」が5つが中止。テレビで野球を見ている毎日。今のところ癌再発はなし。名古屋茂郎様 S38 文・国文 千葉市 / お陰様で無事息災に過ごしております。皆様も時節柄ご自愛ください。親睦ゴルフコンペなどあれば集まり易いかと思います。古澤久志様 S62 法・経営法 流山市 / 今年度は千葉県立行徳高校で国語の非常勤講師をしています。生嶋元博様 S52 文・中国哲学文 松戸市

千葉支部のブログ開設について

2022年度から校友会千葉支部の<支部ブログ>を開設いたしました。校友会のホームページから支部の総会や行事の情報を発信しています。また、facebookでは、校友との情報交換が出来ますので、ぜひご登録下さい!

東洋大学校友会ホームページ



千葉県支部ブログは
◀こちらから



facebookは
◀こちらから

校友会費納入のお願い

支部の諸活動は、校友の皆さんの会費納入による支部への交付金で運営されています。多くの校友の方々のご理解、ご協力をお願いいたします。

■年会費 / 3,000円

※詳しくは本部事務局まで

■終身会費 / 50,000円

☎ 03(3946)9111

編集後記

今回の支部だよりは、新型コロナ対応で新しい局面を向かえた時期での編集となりました。こうした状況下で、本年は、昨年の内容をベースにスポーツ記事や写真も増やし、限られた紙面で工夫をいたしました。また例年通り、多くの校友のご寄稿をはじめ、ご協力をいただき、発行の運びとなりました。改めまして、皆様に感謝申し上げます。併せまして、校友の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。
(広報担当 富岡)